

# 日本地域福祉学会

No.73 2015.5.1

# NEWS

発行 日本地域福祉学会

〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目10-12 日本社会事業大学文京キャンパス気付

TEL 03-6801-5616 FAX 03-6801-5619

URL <http://jracd.jp/> E-mail [chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp](mailto:chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp)

発行人：上野谷加代子 編集人：菱沼 幹男

## CONTENTS

大会実行委員長挨拶	1
30周年記念企画	2
地方部会活動報告(千葉)	4
地方部会活動報告(栃木)	4
ラウンドテーブル報告	5
地方部会助成の申請方法	5
韓国地域社会福祉学会との 覚書	6
実践現場から地域福祉学会への 期待	7
新入会員紹介/Information	8

## 第29回大会実行委員長挨拶



日本地域福祉学会第29回全国大会実行委員会

実行委員長 東北福祉大学教授 都築 光一

東北の山々には、未だかなりの雪が残っておりますが、吹く風や日差しに、やっと訪れた春を感じることができるようになりました。

新年度を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて東日本大震災から4年が経過し、皆様方の多大なるお力添えによって、復興公営住宅移転が見て始まっている地域も出てきました。この機に今回の大会では、改めて災害を通じて地域福祉を見つめる企画を準備いたしております。4年経過してはいるものの、震災に関していえば、福島は未だに災害に見舞われており、決して「東日本大震災」は終わってはいないのです。震災によって、東北の地域は様変わりしたところもありますし、今まであまり見えてこなかったものが顕在化してきている地域もあります。かと思えば、未だに展望が開けない地域もあります。少子高齢化と人口減少に見舞われている現在、震災後の東北の地域をどのようにしていくのかということは、地域住民の方々とともに、議論として広げていきたいテーマであるように思います。

皆様においでいただくころの東北は、うらかな日差しを浴び、復興を実感する点もあろうと思います。また一方で、震災の深い爪痕も確かめることができると思いますので、是非多くの皆様に、エクスカージョンにご参加いただき、現在の東北の姿をご覧いただければと思います。

ところで例年、研究発表や大会の事前の参加申し込み者数の伸びが、今一つのように感じておりました。どうか会員の皆様には、それぞれ様々な事情はあろうと存じますが、他の大会等と日程が重なっている点もありますので、早めに申し込み手続きを済ませていただきますように、よろしくご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方とお会いできますことを心から祈念してご挨拶と致します。